

ごみゼロ新聞

発行／津山市ごみゼロ新聞編集委員会

TEL/0868-22-8255

平成24年度ごみ袋収入の使いみち

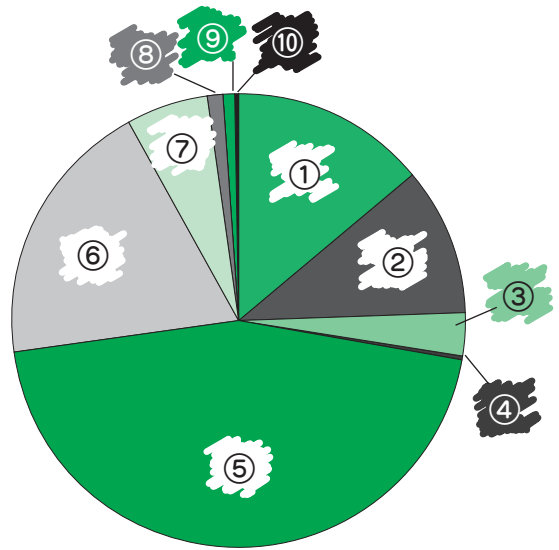
ごみ処理の有料化は、市民の皆さんにごみ処理に係る費用を一部負担していただくことで、ごみ処理にはお金がかかることを意識し、ごみ減量や資源の活用に協力していただくことを目的に実施しています。その収益は、循環型社会推進のための事業などで、皆さんに直接又は間接的に還元しています。

平成24年度の収入は、約1億2千万円でした。この収入から、必要経費を差し引いた収益金を、旧津山・加茂・阿波地域のごみ減量やリサイクルの費用に使用しています。主な内容は次のとおりです。

平成24年度指定ごみ袋収入 1億2,144万円 (前年度 1億2,254万円)

《使途内訳》

必要経費	3,392万円	27.9%
(前年度 3,572万円)	29.1%	
① ごみ袋の製造費	1,705万円	14.0%
② 取扱店手数料	1,270万円	10.5%
③ 配送関係費	377万円	3.1%
④ 事務費	40万円	0.3%
収益充当事業	8,752万円	72.1%
(前年度 8,682万円)	70.9%	
⑤ リサイクル関係費 ※1	5,473万円	45.1%
⑥ 報奨金 ※2	2,323万円	19.1%
⑦ くるくる運営経費	706万円	5.8%
⑧ 生ごみ処理機器補助金	118万円	1.0%
⑨ 環境啓発(ごみゼロ新聞など)	121万円	1.0%
⑩ 環境基本計画推進事業費	11万円	0.1%



※1リサイクル関係費：「プラ」「ペットボトル」などを資源化するための経費です。

※2報奨金：廃品回収や町内リサイクルに対する助成金です。

お知らせ

指定ごみ袋の価格表示を変更します!! (旧津山・加茂・阿波地域)

～ 消費税増税対応 ～

消費税が段階的に引き上げられることに対応するため、指定ごみ袋の価格表示を **税別** 表示に順次変更します。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、指定ごみ袋以外のごみ処理手数料も消費税増税に対応することになります。

詳しくは4ページをご覧ください。